



## 年度末を迎えて

学校長 堀部 尚久

柔らかな陽ざしの下、一気にソメイヨシノが咲き進み、桜色の景色に心癒される年度末となりました。

3月17日（金）、第131回卒業証書授与式が行われ、63名の卒業生が川上小学校を巣立っていきました。昨年に引き続き、新型コロナウイルスへの感染対策を講じながらの式となりましたが、本年度は、保護者の人数制限緩和とともに、何よりも在校生代表として3年ぶりに5年生の参加が叶い、多くの人たちが見守る中での門出を祝う式となりました。巣立ちのときを迎えた卒業生は、担任からの呼名を受けて壇上に立ち、卒業証書を受け取りに歩き出す前に、中学校生活に向けた思いや決意、また、将来の夢や抱負などを、自分の言葉でメッセージとして語りました。小学校6年間の学びや育ちをもとに、これから中学校で挑戦したいこと、頑張っていきたいこと、続けていきたいことなど、子どもたちの思いは実に様々でした。中には、将来の夢として、就きたい職業を具体的に語る子どももたくさんいました。小学校での学びを修了したばかりの子どもたちが、堂々と自信をもって紡ぎだす言葉は、母校を巣立つ門出の日にふさわしくしっかりと前を見据えた言葉であり、本当に頼もしく立派に感じられました。

校長として卒業生に向けた式辞では、我慢することが多かった3年間ではあっても、気持ちが萎えることもなく前を向いてひた向きに学校生活を創り上げてきたことを労いました。そして、プロ野球界で世界的な活躍を認められているレジェンド王貞治選手の言葉、「努力は必ず報われる。もし、報われない努力があるのならば、それはまだ努力と呼べない。」を取り上げ、小学校生活で培った力を「自分の夢に向かって努力すること」をメッセージのテーマとして伝えました。

「願い続けることで、夢が必ず叶うとは限らないが、願わないと叶う夢はない」という言葉もあります。また、「努力は、成功を約束できないが、成長を約束する」という言葉もあります。確かに実現できない夢もありますが、まずは、「夢や目標をもつこと、そして努力を重ねていくこと」が、巣立ちゆく子どもたちの人生を豊かにしていく教えであると、私は確信しています。

小学校生活6年間かけて培ってきた自分像を見つめ、子どもたちが壇上で語った一人ひとりの力強い言葉は、正に夢や希望を抱いている状況と重なります。そして、これから先、弛まぬ努力を重ねていく姿に繋がるものと思っています。先日のWBC（ワールド・ベースボール・クラシック）で優勝を勝ち取った侍ジャパンの村上宗隆選手は、小学校の卒業文集に、「僕の夢は終わらない。（中略）WBCに選ばれて世界で活やくしたい。絶対親孝行してみせる！」と記していたそうです。川上小学校で育った子どもたちが、これからの人生で困難にもめげずに夢や希望をもち続け、夢に向かって歩み続け、夢の実現を図っていくことを、私たち教職員は心より楽しみにしています。

さて、1月6日（金）から始まった後期後半は、53日間ありました。職員の体調不良や感染症のまん延による学級閉鎖等、安定した教育活動の維持に苦慮したこともありましたが、保護者・地域の皆様のご理解ご協力をいただきながら、大きな学校行事としての「川上かがやき学習交流会」の開催を経て、今日まで本年度のまとめと次年度に繋がる活動を着実に重ねることができました。本日は、お子さんの学校での学びや育ちの様子について記した後期の「あゆみ」をお渡ししました。今回作成された「あゆみ」は、後期の学びや生活の様子とともに、前期の学びや生活の様子を加味した、本年度1年間を振り返った育ちの様子としての「評価・評定」、及び「所見」が記載されています。子どもたちには、担任が一人ひとりに手渡すときに、記されていることや記し切れなかった努力の足跡、今後の課題や挑戦への期待について声掛けをしています。ご家庭でも、お子さんが受けた言葉掛けや、「あゆみ」に記されたことを踏まえ、お子さんができるようになったこと、分かるようになったこと、努力をし続けてきたこと、さらに、これから頑張っていくことなど、学習や生活の様子、友達との関わり方など、学校での育ちの姿をお子さんといっしょに振り返っていただくことをお願いいたします。

明日から、13日間の年度末休業・春季休業に入ります。学年だより等でもお知らせのように、新年度は、4月7日（金）の着任式・始業式から始まります。また、その前日6日（木）には、38名の新1年生を迎えて、入学式を行います。なお、新6年生は、入学式・新年度準備で、5日（水）に登校となります。進級後の最上級生としての初仕事の姿がまた楽しみでもあります。

本年度も本校の教育活動に対して、保護者・地域の皆様から、ご理解ご協力とともに、たくさんの温かい励ましをいただきました。教職員一同、心よりお礼申しあげます。ありがとうございました。次年度、また新組織体制の下に歩み出すこととなりますが、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。